

各位

会社名 株式会社アルファクス・フード・システム
代表者名 代表取締役社長 田村 隆盛
(コード番号: 3814 東証 JASDAQ)
電話番号 03-5649-2100
URL <https://www.afs.co.jp/>

セルフレジ(当社製品名「セルフショット」)会計に関する特許取得のお知らせ

この度当社が出願しておりました「セルフオーダーシステム、セルフオーダー管理方法、およびプログラム」について、以下のとおり特許を取得したことをお知らせいたします。

記

特許番号 第 6713075 号 特許登録日 2020年6月24日
発明の名称 セルフオーダーシステム、セルフオーダー管理方法、およびプログラム
特許権者 株式会社アルファクス・フード・システム

【背景と特許の概要】

人手不足の外食産業では、お客様が各テーブルに設置してある端末を操作して注文を入力するセルフオーダーシステムや券売機で入力された注文情報が厨房に直接通知されるなど、最小人数のスタッフで運営できるよう店舗の省人力化・システム化に取り組んでいますが、従来のセルフオーダーシステムでは、食事が終了した後の会計であることから、会計時にレジにお客様が集中していたり、レジ周りにスタッフがいなかったりすると会計はできませんでした。前会計である券売機については、食券を購入している間に席が埋まって、追加オーダーが取れないことから客単価の低下を招くなど機器を導入してもカバーしきれないオーダーや会計にまつわるデメリットがありました。当社の「セルフショット(レジ)」は、オーダー管理サーバーとなっており、お客様が各テーブルに設置してある端末バーコードやQRコードから表示されるスマホ画面等を操作して注文し、テーブルに備えつけられた番号札やスマホで精算を行い、前会計にて会計が終了した時点で厨房に注文情報が表示されます。この前会計方法は、現金だけではなく、スマホ決済・プリペイドカード・クレジット等のあらゆる決済方法に対応しています。このたびの特許技術は、プリペイド方式のカードに現金をチャージしておけば、テーブルに設置してある端末にプリペイドカードの残額を表示して、注文するごとにプリペイドカードの残額が更新されます。ファミリーレストランや居酒屋のように複数回の注文を行うことが多い店舗や割り勘会計が多い店舗、繰り返し来店をしてもらいたい低価格チェーン店ではレジ1か所に会計が集中するのではなく、会計箇所が広がり効果が大きく、チェーン店全店でプリペイドカードは利用できるため、お客様の利便性も高くなります。また、人手不足だけではなく、非接触会計への取り組みにもなります。また、「セルフショット(レジ)」は、当社指定の自働釣銭機との組み合わせにより、W410×D580×H440(mm)と、既存のレジ台に設置できる業界最小寸法で、1台5役(前会計/後会計/混在会計/券売機会計/通常会計)というマルチな会計シーンに対応する多彩な機能を備えておりますので、業態用途ごとにご利用いただけます。

今後の見通しについて

現段階において、本件による通期の業績に与える影響はありませんが、当社が推進するASPサービス事業業の拡充にかかる特許取得であるため、中長期的な企業価値の向上及び事業推進上の貢献があると考えております。業績に影響が生じる場合には速やかにお知らせいたします。

以上